

# NRIだより

トップメッセージ	1
連結業績ハイライト	3
1年間のトピックス	4
デジタル変革への取り組み	6
ESGの取り組み	7
出版物の紹介/会社データ	8

**2018年3月期 決算のご報告**  
[2017年4月1日～2018年3月31日]

野村総合研究所  
Nomura Research Institute

## トップメッセージ



### 2018年3月期は、売上高、営業利益、 当期純利益いずれも過去最高を 達成しました

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

2018年3月期の日本経済は、企業収益や企業の景況感の改善とともに、国内景気の緩やかな回復基調が続き、企業の情報システム投資は堅調に推移しました。

このような環境のもと、NRIグループでは、長期経営ビジョン「Vision2022」の実現に向けて策定した中期経営計画（2017年3月期～2019年3月期）に基づき、既存事業の拡大や生産性向上に取り組むとともに、グローバルやデジタルビジネス分野等の新領域において、事業基盤の形成を進めました。

既存事業については、NRIの強みである共同利用型サービスのシェア拡大を着実に進めました。また、IT（情報技術）を活用して働き方改革を進める企業の支援をおこなうとともに、当社自身も社員の健康促進と生産性を向上させる働き方改革に積極的に取り組んでいます。

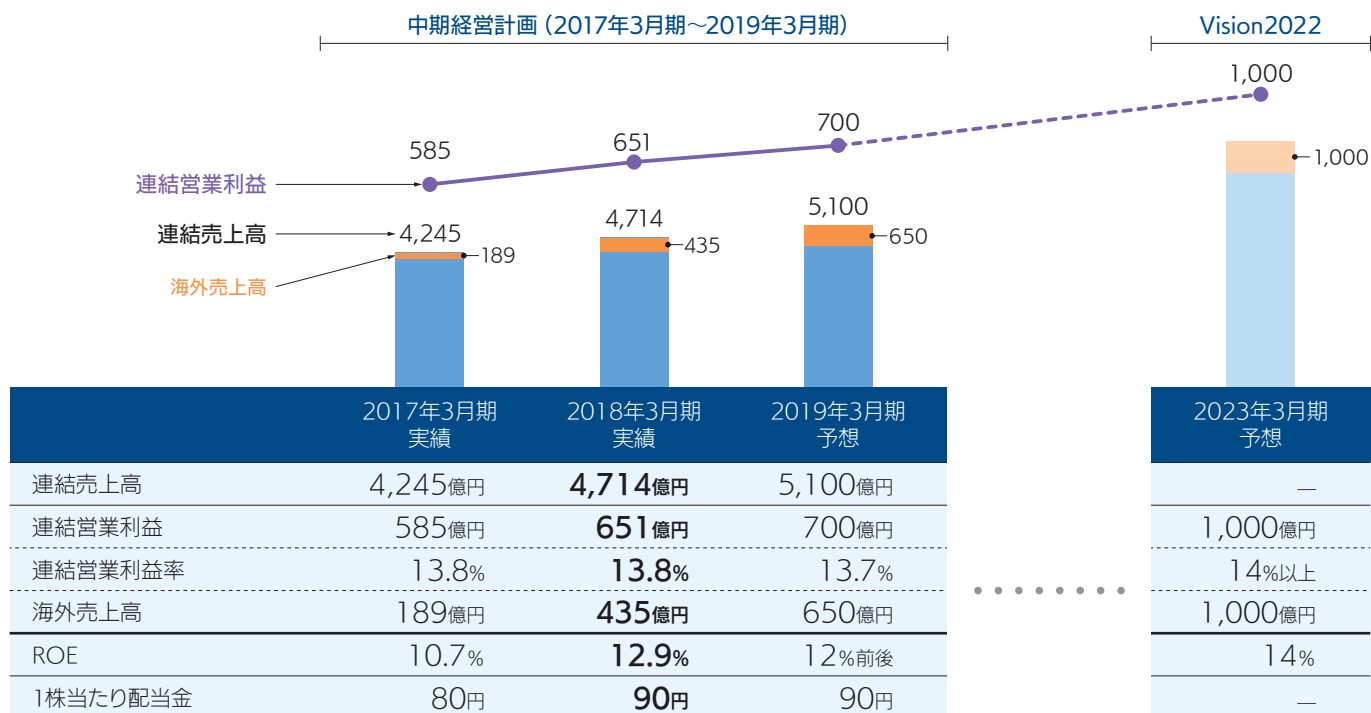
グローバルビジネスでは、日系企業のグローバル展開の支援や、各国政府・企業向け事業の開拓に加え、新たな技術や経験、優れた顧客基盤を有する企業とパートナーシップを築くためのM&Aなどを進めました。2017年9月には、豪州SMS Management & Technology Limitedをグループ会社とし、昨年度グループ会社化した豪州ASGとともに、豪州ITサービス市場の事業拡大に取り組みました。

デジタルビジネスでは、クラウド、AI（人工知能）、IoT（モノのインターネット）など新しいITを活用した新事業開発を進め、その一環として、KDDI株式会社とともに、企業のデジタル変革を支援する合弁会社、KDDIデジタルデザイン株式会社を設立しました。

このような活動の結果、2018年3月期の売上高は4,714億円（前期比11.1%増）、営業利益は651億円（同11.3%増）と、7期連続の増収増益となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は551億円（同22.4%増）となり、いずれも過去最高を達成しました。

## 中期経営計画（2017年3月期～2019年3月期）およびVision2022数値目標

(億円)



### 2019年3月期は、中期経営計画とVision2022の達成に向けて一層の成長を図ります

2019年3月期は、中期経営計画の最終年度です。これまでの施策をさらに推進するとともに、その先にあるVision2022の目標達成に向けて、不採算プロジェクトの発生抑止に努めつつ、デジタルビジネスをはじめとした将来の成長分野へ積極的に挑戦することで、一層の成長を図ってまいります。

2019年3月期の連結業績は、売上高5,100億円（前期比8.2%増）、営業利益700億円（同7.5%増）と、過去最高となった前期業績の更新を目指します。

### 成長とともに、株主の皆様への還元を強化します

2019年3月期は、普通配当を1株につき年間90円（第2四半期末45円、期末45円）とし、前期の配当金（記念配当を含む）と同額にしました。

また、資本効率を向上させ、経営環境の変化に対応し

ていくための資本政策として、自己株式の取得と消却についても機動的に実施していきます。昨年12月に約500億円の自己株式の取得を完了し、今年1月に消却前の発行済株式総数の4.9%にあたる1,300万株の自己株式を消却しました。また、今年4月にも、新たに自己株式の取得を発表しています。今後も、成長と還元の両立を意識した資本政策を進めてまいります。

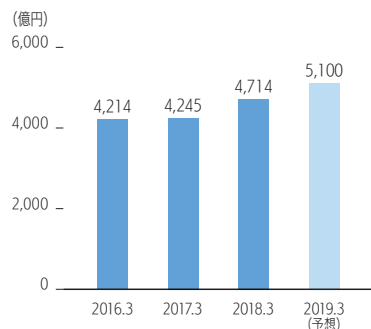
株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2018年5月  
代表取締役社長  
此本 臣吾

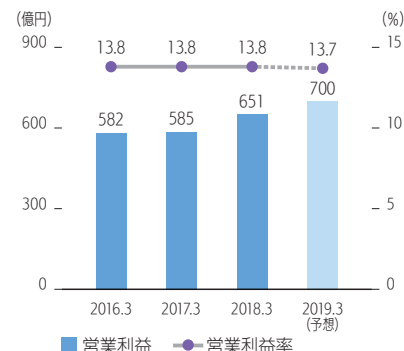
#### ●自己株式取得の概要 2018年4月26日発表

取得する株式の種類	当社普通株式
取得する株式の総数	7,000,000株(上限) ※発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合:2.93%
株式の取得価額の総額	300億円(上限)
取得期間	2018年5月16日～2019年2月28日
取得方法	東京証券取引所における市場買付け (自己株式取得に係る取引一任契約に基づく市場買付け(ただし、当社の各四半期決算発表日の翌営業日より10営業日の間は取得をおこなわない。))

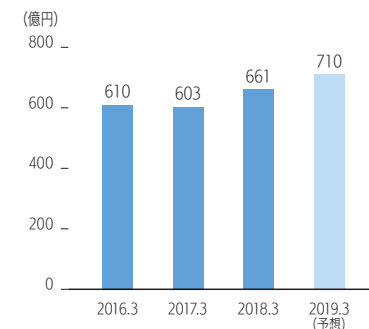
## 売上高



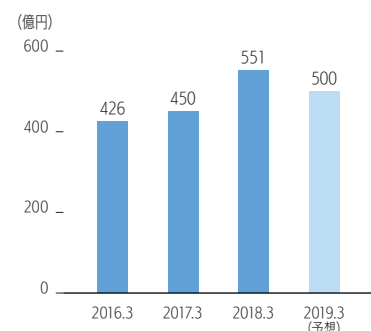
## 営業利益／営業利益率



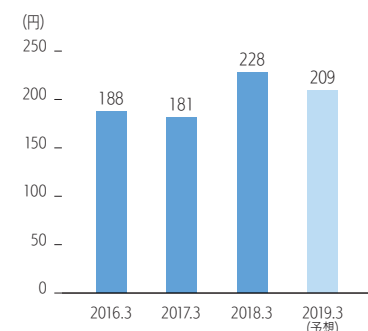
## 経常利益



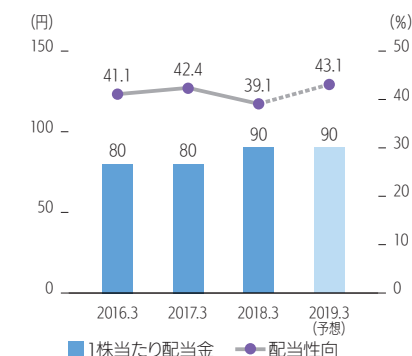
## 親会社株主に帰属する当期純利益



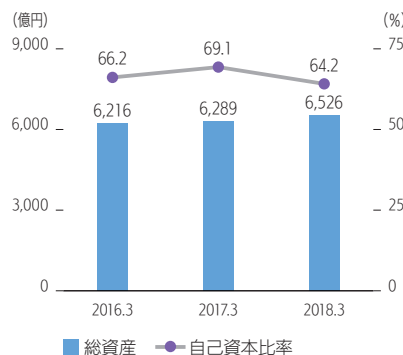
## 1株当たり当期純利益 (EPS)



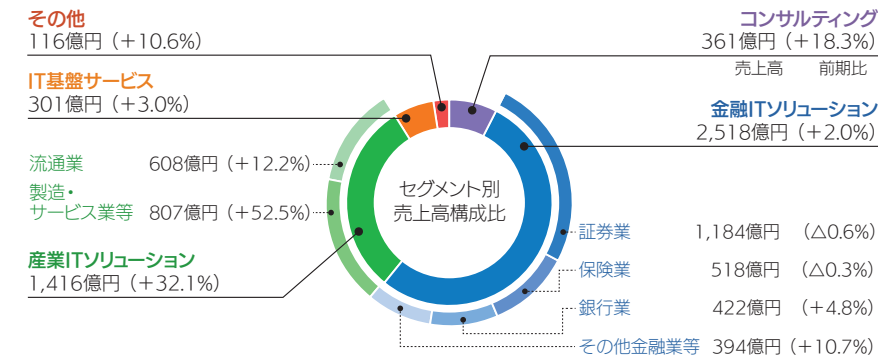
## 1株当たり配当金／配当性向



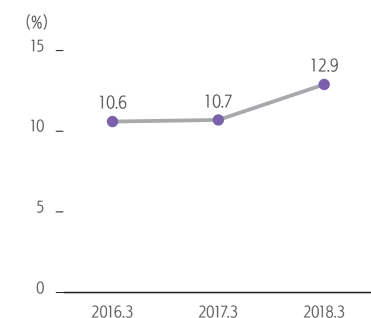
## 総資産／自己資本比率



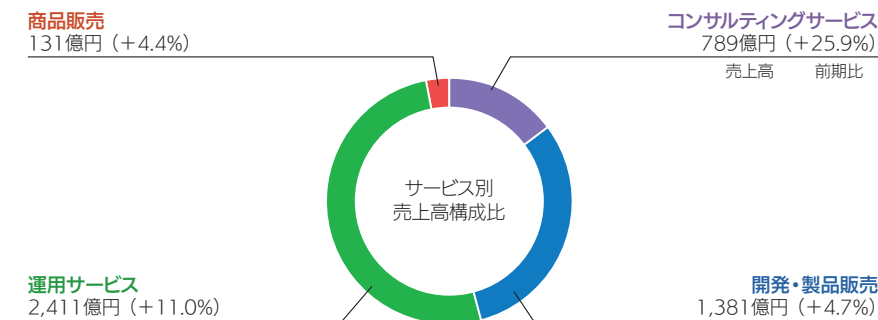
## セグメント別外部売上高 (前期比) (2018年3月期)



## ROE



## サービス別売上高 (前期比) (2018年3月期)



(注) 1. 記載金額は、億円未満(1株当たり当期純利益および1株当たり配当金は円未満)を切捨てて表示しています。  
 2. 1株当たり当期純利益および1株当たり配当金は、株式分割(2015年10月1日付および2017年1月1日付)を遡及修正していない数値を表示しています。  
 3. 2018年3月期の年間配当金には、記念配当10円が含まれています。  
 4. 配当性向は、NRIグループ社員持株会専用信託に対する配当金を含めて計算しています。  
 5. 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しています。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高、利益および配当金は、当該予想と異なる結果となる可能性があります。

# 1年間のトピックス

NRIの1年間のあゆみをハイライトでご紹介します。

## 2017年

### 4月 金融ITソリューション

ポストトレード業務を支援する「プライム・セトルメント・サービス」にロボティック・プロセス・オートメーションを導入

### 産業ITソリューション

大好評の「どこかにマイル」に伊丹空港発着の路線を追加  
⇒詳細はP.6ご参照

### 金融ITソリューション

公的個人認証と連携する署名検証（本人確認）サービス「e-NINSHO」を提供開始

### 5月 金融ITソリューション



米国で、ホールセール証券業務バックオフィスソリューション「I-STAR」がベスト・クリアリング・アンド・セトルメント・ソリューション賞を受賞

### 金融ITソリューション



米国で、「期日管理」「資金管理」「為替管理」ソリューション「VOLCS」が、ベスト・ニュー・ポストトレード・ソリューション賞を受賞

### 産業ITソリューション

日本生命向けに健康増進に係るサービスパッケージを開発

### 5月 ESG



Network Japan  
WE SUPPORT

国連グローバル・コンパクトに参加

### 6月 ESG



女子中高生向け職業体験イベントを夏休みに開催することを決定。女子中高生に理工系の職業選択を考える機会を提供

### 7月 IT基盤サービス

日本初、「ブロックチェーン診断」サービスを開始

### コンサルティング

国内100都市を対象に成長可能性をランキング

### 産業ITソリューション



サッポログループがAI（人工知能）を活用し、「働き方改革」を加速  
⇒詳細はP.6ご参照

### 7月 ESG



FTSE Blossom Japan

MSCI 2017 Constituent MSCI ジャパンESG セレクト・リーダーズ指数

MSCI 2017 Constituent MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

GPIFが選定する3つのESG指数すべてでNRIを採用\*

### 8月 コンサルティング

人工知能を利用して、「働き方改革」を支援するコンサルティングサービスを提供開始

### 金融ITソリューション

日本初、NRIがセブン銀行、日本ユニシスと共同で、勘定系システムへの「東阪交互運用方式」導入を決定

### 金融ITソリューション

NRIとケネディクスが不動産テック分野での協業に向けた基本事項に合意

### 金融ITソリューション

豪州証券会社に証券バックオフィスソリューション「I-STAR/GV」を提供開始

### 経営

NRIホールディングス・オーストラリアを設立。豪州事業拡大にともない、同地域内の企業統治を強化

### 9月 産業ITソリューション



豪州SMS Management & Technology Limitedを買収

※THE INCLUSION OF Nomura Research Institute, Ltd IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Nomura Research Institute, Ltd BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.



10月 経営



2017 Award for Excellence  
in Corporate Disclosure  
- Industries -  
SAAI The Securities Analysts  
Association of Japan

NRIが公益社団法人日本証券アナリスト協会より、コンピュータソフト部門「2017年度ディスクロージャー優良企業」を受賞

### IT基盤サービス



システム開発プロジェクトにおける品質向上と業務効率化の双方を推進する開発管理統合サービス「aslead」の提供を開始

### 産業ITソリューション

NRIとKDDIが、企業のデジタル変革を支援する合併会社の設立に合意

⇒詳細はP.6ご参照

11月 コンサルティング

地域の課題をベンチャー企業のICT力で解決する公募プログラム「StartupXAct」を開始

### 金融ITソリューション

NRIとTRANOTECが、出資契約と協業の基本合意書を締結。新たな投資サービスの開発に向けたプロダクト開発を推進

12月 コンサルティング



NRIが書籍やセミナーなどで発表している2018年～2100年の様々な予測を、NRI未来年表で「NRI予測」として掲載

12月 金融ITソリューション



音声認識技術と人工知能の活用で、NRIがみずほ証券のコンプライアンス関連の業務時間を大幅に短縮

### 経営



NRIが日本IR協議会より「IR優良企業賞2017」を受賞

### コンサルティング

DataRobot社とパートナー契約を締結し、機械学習を用いたデータ分析コンサルティングを強化

### 金融ITソリューション

約10,000名の富国生命お客さまアドバイザーの業務を刷新。iPadを用いた新情報端末「PlanDo」で、お客さまサービスの充実と柔軟な働き方を推進

### ESG



「NRI学生小論文コンテスト2017」の入賞者を決定。全国の大学生・高校生が、「地方が直面する課題の解決」に取り組む

### 経営

2017年7月28日～12月22日の期間で、約500億円の自己株式を取得

2018年

1月

### IT基盤サービス

「グローバルセキュリティアセスメント」サービスを提供開始。グローバル企業の情報セキュリティ診断と統制を推進

### 経営

2018年1月31日付で自己株式1,300万株(消却前の発行済株式総数の4.9%)を消却

2月

### コンサルティング

約3万サンプルのシングルソースデータを人工知能で解析し、テレビCMの広告効果を高精度に予測するモデルを開発

### 産業ITソリューション

大好評の「どこかにマイル」に関西国際空港発着の路線を追加  
⇒詳細はP.6ご参照

### ESG

温室効果ガス排出量を2030年度に55%削減(2013年度比)  
⇒詳細はP.7ご参照

### ESG

「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー®2017」の東京都知事賞を受賞  
⇒詳細はP.7ご参照

3月

### ESG

女性活躍推進に優れた上場企業の「なでしこ銘柄」に2年連続選定  
⇒詳細はP.7ご参照

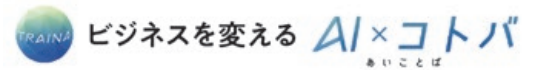
### 金融ITソリューション

NRIと平和不動産が「ファンドホテルディングサービス」の提供に向けた基本事項に合意

## デジタル変革への取り組み

新しいIT (情報技術) を活用した、企業や社会のデジタル変革への取り組みの一部をご紹介します。

### 人工知能: AIソリューション 「TRAINA/トレイナ」



NRIは、コールセンターなどの窓口業務において、人工知能が問い合わせやオペレーターとの会話をテキスト解析や音声認識で的確に理解し、過去に得た知識を基にオペレーターに対して回答候補を提示したり、自動で回答したりするソリューション「TRAINA/トレイナ (以下、TRAINA)」を提供しています。

サッポロホールディングス株式会社では、2016年12月からの実証実験を通して、2017年6月からサッポログループの業務効率化推進の本格展開を開始しました。その結果、グループ内からの問い合わせに対応する業務の45%が、「TRAINA」で人手をかけずに回答可能であることを確認しました。(右図ご参照)

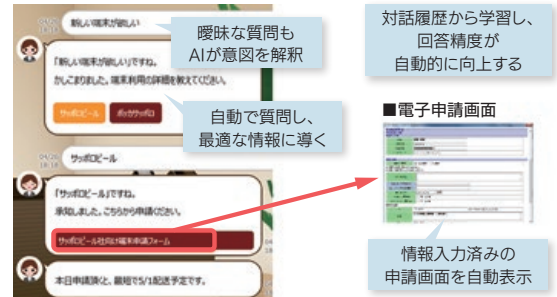


図: 「TRAINA」が問い合わせ内容を解釈し、自動で質問しながら最適な対応を促す様子



「TRAINA/トレイナ」の詳細は、以下のURLをご参照ください。  
<https://www.traina.ai/>

### IoT: NRIとKDDIが、企業のデジタル変革を支援する 合併会社「KDDIデジタルデザイン」を設立

NRIは、2017年10月26日、企業のデジタル変革を支援する合併会社を設立することで、KDDI株式会社 (以下、KDDI) と合意しました。NRIは、KDDIが2017年12月15日に設立した「KDDIデジタルデザイン株式会社」に49%出資し、2018年1月1日から事業運営を開始しています。

同社は、NRIが持つ戦略コンサルティングとシステムインテグレーション力、そしてKDDIが有する次世代ネットワークやIoTプラットフォームの構築力など、双方の持つ強みを活かし、企業のデジタル変革を戦略立案から、事業化検証、システム構築まで一貫して支援します。

### データアナリティクス: 大好評の「どこかにマイル」サービスに、 伊丹空港および関西国際空港を発着する路線を追加

NRIと日本航空株式会社が共同開発した国内線特典航空券のサービス「どこかにマイル」に、当初の羽田空港発着路線に加えて、2017年4月10日から伊丹空港、2018年2月7日からは関西国際空港を発着する路線を追加しました。

「どこかにマイル」は2016年12月のサービス開始以来、大変好評で、お客さまからのご要望に沿って、両空港を追加したことにより、対象路線数は従来の34路線から64路線になりました。(2018年2月7日時点)



「どこかにマイル」の詳細は、以下のURLをご覧ください。  
<http://www.jal.co.jp/jmb/dokokani/>

ESG (環境・社会・企業統治) に関する取り組みの一部をご紹介します。



## 温室効果ガス排出量を 2030年度に55%削減(2013年度比)する目標を設定

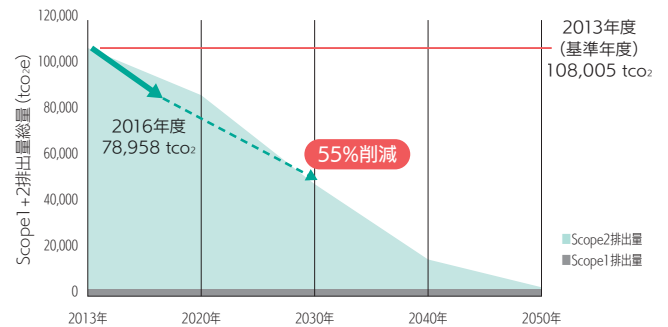
NRIは、データセンターや、主要なオフィス環境性能の高い施設に移転するなど、継続的な温室効果ガス排出量削減に向けた活動をおこなってきました。それにより、2015年度に策定した2022年度末の環境目標を、6年前倒しで2017年に達成しました。

それを受けて今回、「NRIグループの温室効果ガス排出量<sup>※1</sup>を2030年度に55%削減(2013年度比)する」新たな環境目標を設定しました。この目標は、気候変動問題に対する国際的な要請に沿った形で、パリ協定で目標とされている世界の平均気温上昇「2℃未満」の達成に向けた水準<sup>※2</sup>です。

※1: Scope1 (燃料の燃焼などの直接排出量) + Scope2 (電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出量) の合計。

※2: 科学的根拠と整合した温室効果ガス排出量削減目標を企業に求める国際的イニシアチブである「Science Based Targets (SBT)」の目標設定水準。

「2℃未満」の達成に向けた排出量水準モデルとNRIグループの排出量 (Scope1+Scope2) の実績および目標



## 女性活躍推進に優れた上場企業として、 「なでしこ銘柄」に2年連続選定



NRIは、2018年3月、平成29年度「なでしこ銘柄」<sup>※3</sup>に2年連続で選定されました。NRIは、2008年に開始した企業風土醸成プロジェクトのひとつ「NRI Women's Network」を中心に、社員の声を取り入れながら女性社員のさらなる活躍を推進してきました。また、人事制度の整備や役職員の

意識改革など、多様な人材が活躍するための環境づくりを通じた幅広い取り組みが評価され、選定につながりました。

※3: 「なでしこ銘柄」は、2012年度から経済産業省と東京証券取引所が共同で、「女性活躍推進」に優れた上場企業を、「中長期の企業価値向上」を重視する投資家にとって魅力ある銘柄として紹介し、投資や各社の取り組みを促進するものです。



## 「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー<sup>®</sup>2017」の 東京都知事賞を受賞

2018年2月、一般社団法人日本取締役協会が主催する2017年度「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー<sup>®</sup>」において、NRIは東京都知事賞に選定されました。この賞は2017年度に創設され、NRIが初の受賞企業です。

東京都の小池百合子知事は、NRIの受賞理由を「コーポレートガバナンスの取り組みに加え、ESG (環境・社会・企業統治) に対する先進的な取り組みを評価しました」と語りました。



表彰式の様子。  
小池百合子 東京都知事 (左) と取締役会長 嶋本正 (右)



## NRIグループ社員による出版物のご紹介



### デジタル資本主義

東洋経済新報社 発行  
(2018年5月3日)

主役はAIか、巨大企業か、市民か？  
日本を代表するシンクタンクによる未来予測の決定版。



### 決定版 EVシフト

東洋経済新報社 発行  
(2018年4月12日)

急速に進むEVシフト。次世代モビリティの覇者は誰？日本の自動車産業の今後は？100年に一度の大転換の全貌を俯瞰する。

## 会社概要

会社名	株式会社野村総合研究所
英文社名	Nomura Research Institute, Ltd.
所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
沿革	1965年 4月 株式会社野村総合研究所 (NRI) 設立 1966年 1月 株式会社野村電子計算センター (NCC) 設立 1988年 1月 両社が合併 2001年12月 東京証券取引所第一部に株式を上場
資本金	186億円
代表者	代表取締役社長 此本 臣吾
従業員数	6,130名/NRIグループ 12,708名 (2018年3月31日現在)

## 株主メモ

- 株券電子化にとめない、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店または証券代行部テレホンセンターまでお問い合わせください。

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
単元株式数	100株
公告方法	電子公告(公告掲載URL <a href="http://pn.nri.com/">http://pn.nri.com/</a> ) ただし、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(連絡先・郵送先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

株式会社野村総合研究所

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ  
TEL 03-5533-2111 <http://www.nri.com/jp/>